

歯科矯正学講座  
(Department of Orthodontics)

教育研究原著論文

1) 印刷公表

1. 岡下慎太郎. Temporary Anchorage Device の形態が顎骨の応力分布に及ぼす影響. 歯科医学 2005 ; 68(1) : 69-78.
2. SANO Y, KIM H, INUBUSHI T, KAWAMOTO T, MORISHITA H, OHNISHI Y, NAKAJIMA M, KAKUDO K, SANO T, KAWASAKI Y. Importance of head positioning in cephalometric analysis of 3D-CT stereotaxic images. *J Osaka Dent Univ* 2005 ; 39(1) : 47-55.
3. GODA R, HAYASHI K, SANO Y, KIM H, KAWAMOTO T, MORISHITA H, OHNISHI Y, NAKAJIMA M, KAKUDO K, SANO T, KAWASAKI Y. Evaluation of 3D-CT stereotaxic images for lateral cephalometric analysis. *J Osaka Dent Univ* 2005 ; 39(1) : 71-77.
4. ABE Y, KATSUMI T, SANO Y, KIM H, KAWAMOTO T, MORISHITA H, OHNISHI Y, NAKAJIMA M, KAKUDO K, SANO T, KAWASAKI Y. Evaluation of 3D-CT stereotaxic imaging for frontal cephalometric analysis. *J Osaka Dent Univ* 2005 ; 39(1) : 79-86.
5. 大崎仁子, 永木恵美子, 本田 領, 石井千佳子, 四井資隆, 川本達雄. 習慣性咀嚼側と咬筋の形態および顎顔面形態との関係について. 歯科医学 2005 ; 68(2) : 220-226.
6. 川本達雄. 矯正治療における抜歯. 日本歯科医学会誌 2005 ; 24 : 145.
7. 荒垣芳元, 石井千佳子, 橋本和哉, 松本尚之, 川本達雄. 大阪歯科大学付属病院における過去10年間の口唇裂口蓋裂を有する矯正患者の統計的観察-第2報-. 日本口蓋裂学会雑誌 2005 ; 30(3) : 254-258.
8. 小林大介, 本田 領, 木村長穂, 本田智世, 山本昌弘, 山脇 裕, 川本達雄. 前歯部咬合深さの評価~咬合平面に対する中前歯根尖端距離を用いた必要咬合挙上量 (IIDD) の算出法~. 近畿東海矯正歯科学会雑誌 2005 ; 40(1) : 15-21.

2) 学会発表

1. KAWAMOTO T. Psychological tendencies of adult orthodontic patients. *5th Asian-Pacific Orthodontic Conference* 2005 : 36.
2. HAMADA M, HAMADA M, KAWAMOTO T. Controlling two phase treatment sequence. *5th Asian-Pacific Orthodontic Conference* 2005 : 51.

3. KAMBARA T, NAGAYA K, HAYAMI H. Relationship between anterior teeth and lips (Part 1: From an assessment of vertical position of the anterior teeth in normal Japanese). *81st Congress of European Orthodontic Society* 2005 : 93.
4. HONDA R, RENSYA H, KAWAMOTO T. Mandibular deformation among violin players. *81st Congress of European Orthodontic Society* 2005 : 379.
5. KIM H, SANO Y, KAWAMOTO T. Usefulness of 3D-CT stereotaxic imaging for quantitative of craniofacial changes. *38th Annual Scientific Congress of Korean Association of Orthodontists Program* 2005 : 90.
6. 太田千佳子, 井上美香, 永木恵美子, 本田 領, 四井資隆, 神原敏之, 川本達雄. 顎顔面形態と内側翼突筋との関係について. 第64回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 2005 : 133.
7. 林 和男, 蓮舎寛樹, 神原敏之, 川本達雄, 川崎靖典. 左右の偏位を伴う顎変形症患者の左右側乳様突起の対称性について. 第64回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 2005 : 134.
8. 橋本和哉, 永田雄己, 蓮舎寛樹, 本田 領, 西浦亜紀, 金漢俊, 神原敏之, 川本達雄, 川崎靖典. 顎変形症患者の顎顔面と鼻中隔の形態に関する研究—再構築 CT 画像による分析—. 第64回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 2005 : 134.
9. 勝見友晴, 金下祐己, 井上美香, 太田千佳子, 永木恵美子, 四井資隆, 神原敏之, 川本達雄. 下顎骨における Notch の深さと咬筋との関係について. 第64回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 2005 : 135.
10. 井上美香, 太田千佳子, 永木恵美子, 四井資隆, 神原敏之, 川本達雄. 個性正常咬合者における咬合力と顎顔面形態の関係. 第64回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 2005 : 139.
11. 荒垣芳元, 勝見友晴, 岡下慎太郎, 神原敏之, 川本達雄. 顎整形力による顎顔面頭蓋の変形に関する力学的検討—オトガイ帽装置について—. 第64回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 2005 : 171.
12. 金下祐己, 合田征司, 井上 博, 吉川美弘, 神原敏之, 堂前尚親, 川本達雄. 破骨細胞分化における phosphatidylinositol 3-kinase の影響について. 第64回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 2005 : 196.
13. 玉田 亨, 山中 知, 川本達雄. MINI 自動心理診断システムによる男性の上顎前突症患者と下顎前突症患者の性格傾向の検討. 第64回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 2005 : 224.
14. 川端陽子, 佐野祥子, 金漢俊, 川本達雄, 大西祐一, 中嶋正博, 覚道健治, 川崎靖典. 顎顔面形態変化の定量評価における 3次元定位画像診断の有用性について. 第64回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 2005 : 227.
15. 久保晴美, 関 詔夫, 大村浩一, 三井七美, 河野智子, 大橋一範, 川本達雄. 健常永久歯列を有する日本人成人女性における咬合彎曲の中心について. 第64回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 2005 : 227.

16. 関 詔夫, 久保晴美, 大村浩一, 三井七美, 河野智子, 大橋一範, 川本達雄, 高尾誠一郎<sup>2</sup>, 間鍋延一<sup>2</sup>. 咬合彎曲における三次元咬合測定器の有効性について. 第64回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 2005: 228.
17. 本田 領, 小林大介, 木村長穂, 本田智世, 山本昌弘, 山脇 裕\*, 川本達雄. 咬合平面に対する中切歯歯根尖間距離を用いた必要咬合挙上量の評価法. 第64回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 2005: 229.
18. 浜田昌彦, 浜田充彦. Genio-molar-anchorage appliance 製作のための印象用トレイ. 第64回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 2005: 243.
19. 浜田充彦, 浜田昌彦. ファンクションレギュレーター製作のための計測器. 第64回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 2005: 243.
20. 岡下慎太郎, 荒垣芳元, 山田尋士<sup>4</sup>, 神原敏之, 川本達雄. スクリュー型TAD (Temporary Anchorage Device) におけるトルク荷重載荷時の応力解析. 第64回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 2005: 244.
21. 永田雄己, 蓮舎寛樹, 橋本和哉, 居波 薫, 江藤美希, 山中 知, 神原敏之, 川本達雄. 不正咬合患者の咀嚼能力・顎顔面形態および咬合状態との関連について. 第64回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 2005: 306.
22. 橋本 登. Maxillary dental arches in japanese with individual normal occlusion. anthropological society 2005; 113(3): 335.
23. 荒垣芳元, 勝見友晴, 林 和男, 神原敏之, 川本達雄. オトガイ帽装置による顎顔面頭蓋の変形に関する力学的検討. 第13回顎顔面バイオメカニクス学会大会抄録集 2005: 14-15.
24. 永田雄己, 橋本和哉, 蓮舎寛樹, 神原敏之, 川本達雄. 咬合力および咀嚼能力と顎顔面形態との関連について. 第13回顎顔面バイオメカニクス学会大会抄録集 2005: 16-19.
25. 井上美香, 太田千佳子, 坂本恵美子, 江藤美希, 本田 領, 四井資隆, 神原敏之, 川本達雄. 咬合力と顎顔面形態との関係—個性正常咬合者の場合. 第13回顎顔面バイオメカニクス学会大会抄録集 2005: 20-22.
26. 岡下慎太郎, 居波 薫, 江藤美希, 神原敏之, 川本達雄. スクリュー型TAD(Temporary Anchorage Device) のトルク荷重時の物理特性. 第13回顎顔面バイオメカニクス学会大会抄録集 2005: 65-66.
27. 太田千佳子, 永木恵美子, 四井資隆, 川本達雄. 個性正常咬合者における顎顔面形態と筋との関係について. 日本顎変形症学会雑誌 2005; 15(3): 202.
28. 蓮舎寛樹, 本田 領, 本田智世, 鍋島呂実, 犬伏俊嗣, 川本達雄. クラスター分析を用いた下顎骨側方偏位の分類について. 近畿東海矯正歯科学会雑誌 2005; 40(1): 56.
29. 周 蕾, 陸 志勇, 西浦亜紀, 川本達雄. Function Regulator によって治療したアングル II 級 1 類不正咬合患者の軟組織側貌の変化. 歯科医学 2005; 68(3/4): 283.

## 臨床症例報告

### 1) 印刷公表

1. 藤本尚子, 松本尚之, 飯田拓二, 川本達雄. 顎骨間関係骨格性 I 級顔面非対称症例の外科的矯正治療. 近畿東海矯正歯科学会雑誌 2005 ; 40(1) : 22-33.

### 2) 学会発表

1. KAMBARA T. Case presentation of open bite with maxillary first molar extraction. *Angle Society on site program* 2005 : 4.
2. KAMBARA T. Case presentation of deep over bite. *Angle Society on site program* 2005 : 4.
3. HAMADA M, HAMADA M, KAWAMOTO T. Controlling two phase treatment sequence. *81st Congress of European Orthodontic Society* 2005 : 97.
4. 犬伏俊嗣, 川本達雄. 上下顎歯列に顎外力を用いて顔貌の改善を行った症例. 第16回日本歯科審美学会学術大会プログラム・抄録集 2005 : 62.
5. 岩本 浩. インプラントを用いた矯正治療. 近畿東海矯正歯科学会雑誌 2005 ; 40(1) : 53.
6. 西浦亜紀, 神原敏之, 河野智子, 川本達雄. 上顎第一大臼歯抜去により治療した骨格性開咬の一治験例. 近畿東海矯正歯科学会雑誌 2005 ; 40(1) : 55.
7. 好田春樹. 混合歯列期より成長終了期まで治療が及んだ Angle Class II 症例. 近畿東海矯正歯科学会雑誌 2005 ; 40(1) : 57.
8. 山田尋士, 山田義博\*. Angle Class II 非抜歯症例. 近畿東海矯正歯科学会雑誌 2005 ; 40(1) : 61.
9. 前田卓也. 上顎前歯部に著しい叢生を伴う Angle Class I 症例. 近畿東海矯正歯科学会雑誌 2005 ; 40(1) : 66.
10. 三谷早苗, 神原敏之. 上下顎第二大臼歯抜去をおこなった叢生症例. 近畿東海矯正歯科学会雑誌 2005 ; 40(1) : 67.

## 総説

1. 蓮舎寛樹. アンクルI級叢生症例. 別冊 Quintessence 矯正 Year Book'05 2005 : 182-186.
2. 本田 領. 上下顎前突症例. 別冊 Quintessence 矯正 Year Book'05 2005 : 187-191.
3. 木下三樹夫. 本来小臼歯抜歯による矯正歯科治療を選択しただろうと考えられた非抜歯症例. 別冊 Quintessence 矯正 Year Book'05 2005 : 192-197.

4. 木下三樹夫. 小臼歯抜歯による矯正歯科治療を施した歯周疾患を有する高齢者の症例. 別冊 Quintessence 矯正 Year Book'05 2005 : 198-203.
5. 有本博英. 臼歯の位置づけを中心とした診断と治療. 別冊 Quintessence 矯正 Year Book'05 2005 : 204-214.
6. 大浦寿哉. 長期安定を示した成人骨格性上顎前突症例. 別冊 Quintessence 矯正 Year Book'05 2005 : 215-221.
7. 神原敏之. 「垂直的骨格異常に対する診断と治療の最前線」咬合平面の変化から外科的矯正を考える. 日本顎変形症学会雑誌 2005 ; 15(3) : 165.

---

\* 大阪歯科大学歯科矯正学講座同門会

\*2 (株) アコオ機工